

小樽商科大学学術研究奨励事業

第20回「学生論文賞」第1次審査の結果と連絡事項

1. 第1次審査集計方法等について

43本の研究発表に対して、30名の教員が審査を担当した。

審査員（五十音順）：

赤穂 雄磨、石井 登、石川 業、石川 友和、市原 啓善、王 力勇、大津 晶、加賀田 和弘、
片岡 駿、後藤 良彰、小林 広治、堺 昌彦、ジョーダン チャールズ、鈴木 和宏、
須田 珠生、須永 将史、関 隆教、戴 秋娟、武部 エイミー、田中 晋矢、
デバーグ ヒラベ 良子、寺坂 崇宏、西村 友幸、沼田 ゆかり、林 弘晃、松家 仁、
松本 朋哉、三浦 克宜、山田 政樹、李 昕蔚

【審査方法】

- ①各発表者につき、各審査員の審査項目の点数を合計し、合計の平均値を算出する。
- ②各審査会場の各発表者の合計の平均値を合算し、審査会場ごとの平均点を算出する。
- ③以下の式で、平準点を求め、序列をつける。

平準点 = (各個人の合計点(平均) - 各審査会場平均値) ÷ 各審査会場平均値

※ 各審査会場の点数の偏り等を考慮している。

2. 第1次審査結果（第2次審査対象者）について

- ◎ 席次1位から19位まで（19編）を第2次審査対象論文とした。

発表番号				
A-2	A-4	A-5	A-6	A-12
B-2	B-6	B-8	B-10	B-12
C-3	C-4	C-5	C-11	C-12
D-2	D-5	D-6	D-11	

3. 連絡事項

- ① ベスト・プレゼンテーション賞は、第2次審査結果と同時に選出します。
- ② 今回応募した43本の発表それぞれに対する審査コメントは、manabaの「個別指導（コレクション）」からお渡しします。
- ③ 第2次審査進出者は、「第2次審査論文提出要領」（ホームページに掲載）に基づき、提出期間中に論文を提出してください。

提出期間：12月22日（月）～令和8年1月6日（火）【期限厳守】

※提出期限を過ぎた者については、辞退したものとみなします。

【この件に関する問合せ先】
グローカル戦略推進センター教育支援部門
TEL：0134-27-5240
E-mail：k-shien@office.otaru-uc.ac.jp